



ぽかぽか

祝50周年



吉原北中校区小中一貫教育目標「自分らしく ともに かがやく」

富士見台小重点目標「一歩 前へ！」



秋の深まりを感じてきました。今年の9月は、「異常気象」でした。長雨、ゲリラ豪雨、不思議な動きをする台風、急な気温変化など、さわやかな秋晴れが恋しい日々が続きました。

左の写真は、うさぎ小屋の東側の校庭です。一年間のうちのほんの10日間ほどですが、ヒガンバナが群生し、心を癒してくれました。これも、サポーターさんが意図的に植えてくださったものです。

運動場北東側の植樹コーナーに、オリーブの木が2本仲間入りします。また根元から折れてしまったクヌギも改めて植樹します。

全校で取り組む活動

①6年生から始まったあいさつ運動が、下級生にも広がっています。雨の日もたくさんの子もたちが自主的に参加しています。毎朝、交通指導をして下さっているサポーターさんからもお褒めの言葉をいただいています。

車でお子さんを送迎している保護者の方にはお願いです。このところ何回か、危ない場面を目にしました。徒歩で登校してくる子どもたちの安全第一のため、正門付近での駐停車を避け、校内では徐行を心がけてください。



②全校児童に呼びかけて、「オータムイン富士見台」(10月10日開催)で配布する腐葉土の袋詰めを行いました。100名近いボランティアの子どもたちが参加し、例年、時間がかかっていた袋詰めがあっという間にできました。準備や片付けにご尽力いただいた草刈りチームのサポーターさんも驚いていました。

学校訪問から

学校では年に2回、富士市教育委員会や静東教育事務所の指導主事による訪問があります。今年は6月と9月に行われました。学校での子どもたちや先生方の様子について、たくさんのお褒めの言葉をいただきました。

富士見台小の子どもたちはとても落ち着いていて、どの子も真剣に授業に取り組む姿に感心されていました。「どうすれば、この状態になるのですか?」とお客様に質問されました。学習のマナーが身に付いていて、日頃から集中することは、子どもたちにとっては当たり前の姿になっています。でも、この当たり前がなかなかできるわけではありません。一緒に学ぶ仲間を大切に思う「ぽかぽかな気持ち」がないとできません。きっと、これまでの積み重ねが身に付いてきたのだと思います。この良さをさらに伸ばしていきたいです。



校長

《保護者面談とあらわれ所見について》

10月5日(月)~9日(金)の5日間(9日は予備日)は、保護者面談です。「前期あらわれ」には、所見の記載がございませんが、この面談で、担任から前期に子どもたちが頑張ったことや努力したあらわれ等について、お話をさせていただきます。面談でお話したことを後期の学習活動に生かしていただけるよう、よろしくお願いいたします。

9日(金)の前期終業式の日、担任から子どもたち一人一人に、頑張ったことや努力してきたこと等を認め励ましながら「あらわれ」を渡します。お子様が「あらわれ」を持ち帰りましたら、温かく励ましていただけたらと、後期の学習への意欲や、健やかな成長に繋がります。よろしくお願いいたします。

《10月17日(土)は、スポーツフェスティバル(体育授業参観)》

スポーツフェスティバル(体育授業参観)の練習が、9月の連休前から始まっています。休み時間には、どの学年もダンスやクラス対抗に向けた練習をする等、活気があります。また、体育科の授業でも学年団で練習をする等、子どもたちは頑張っています。この練習期間中は、運動する時間が多くなり、体力を消耗するだけでなく、免疫力の低下にも繋がります。当日に練習した成果を発揮できるよう、十分な睡眠と朝ごはんをしっかり食べることや、感染症予防へのご協力をよろしくお願いいたします。